

[総合型選抜／学校推薦型選抜／一般選抜（前期日程）]

◎ 問題・解答の形式の例（※）

- ・ 穴埋め（1 つに対して 4 つ程度の選択肢）
- ・ 穴埋め（複数に対して複数の選択肢群）
- ・ 和 訳（要約を含む）

※ 上記は例示であり、これらがすべて出題されるというものではありません。

◎ 出題例

【例 1】

次の文章は下線部の日本語訳である。空欄(1)と(2)にあてはまる最も適当なものを、それぞれ選択肢の中から選び、記号で答えよ。また、空欄(3)にあてはまる適当な語句を日本語で書け。

下線部

Many expressed not knowing what kind of digital legacy their deceased family members had left, with 58% of those reporting problems stating that they were unsure of the full extent of the situation and what they had to do.

上記英文は、令和 7 年度学校推薦型選抜の適性検査：総合問題Ⅱ（Part1:Reading Comprehension）で出題した長文の一部です。この本文の全容については、公表済みの下記ファイルよりご確認ください。

「2025 年度学校推薦型選抜適性検査出題ファイル（著作権承認済）」

(https://www.fun.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/exam_sui2025c.pdf)

日本語訳

多くの人が（ 1 ）にどのようなデジタル遺品があったのか知らなかったと答え、（ 2 ）の 58%が、状況の全体像や（ 3 ）についてよく分からなかったと述べた。

- (1) ①亡くなった家族 ②高齢の家族
③残された家族 ④配偶者

[正答] ①

- (2) ①問題を報告した人 ②遺品を相続した人
③ロックを解除した人 ④調査に応じた人

[正答] ①

- (3) [正答記述例] すべきこと、なにをしなければならないか、など

【例 2】

次の文章は本文の要約である。空欄(1)にあてはまる最も適当なものを、選択肢の中から選び、記号で答えよ。また、(2)から(5)にあてはまる最も適当なものを、それぞれ選択肢群の中から選び、記号で答えよ。

スマートフォンが生活に欠かせないものになるにつれ、故人の（ 1 ）に家族がアクセスできないことが問題になっている。故人の ID やパスワードが分からないと、例えば（ 2 ）や、オンラインショップに登録されたクレジットカード情報などを管理することができない。

調査によると、故人の遺品整理を経験した人のうち 80%がデジタル遺品に関するトラブルに直面していた。おもな問題は、スマートフォンのロックを解除できない、オンラインサービスを解約できないなどであった。デジタル遺品まで含めてすべての遺品整理を完了できた人は 20%にとどまる一方で、デジタル遺品にはほとんど、あるいはまったく手をつけていない人は 29%にも及んでいた。また、故人が生前に（ 3 ）と回答した人は 51%であり、詳細を（ 4 ）のは 26%、さらにそれを家族らと共有していたのは 22%、デジタルツールに記録していたのは 15%だった。

専門家によると、ロック解除に関する問い合わせは年々増加しているが、（ 5 ）をかけても解除できないケースもある。そのため、生前からロック解除の方法を共有しておくことが重要である。

- (1) ①デジタル遺品 ②携帯端末
③契約情報 ④アカウント

【正答】①

(2) ～ (5)

選択肢群

①ソーシャルメディアのアカウント、②銀行口座の番号、③なにも対策をしていなかった、④解決方法を検討していた、⑤紙に記録していた、⑥オンラインサービスに登録していた、⑦多額の費用、⑧技術者が時間

【正答】(2) ① (3) ③ (4) ⑤ (5) ⑦

【例 3】 デジタル遺品とはなにか。本文の内容をふまえて、日本語で簡潔に説明せよ（50 字以内）。

〔正答記述例〕 デジタル遺品とは、

「故人が遺した資産や情報のうちデジタル機器を通じてしかアクセスできないもの（36 字）」

「デジタル機器を使わないとアクセスすることができない、個人が遺した資産や情報のこと（40 字）」